

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 30 日

事務事業名		市政モニター設置事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	060101000875
				単独/補助	単独		010101
政策体系上の位置付け						所属課	秘書広報課
政策体系	総合計画の施策名	0601 市民協働のまちづくり		主要事業			
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり		市長マニフェスト			
	施策名	01 市民協働のまちづくり		未来PJ事業		グループ 秘書広報G	
	手段名	01 ①広報広聴の充実		合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	02	01	04	01	00	広報広聴事業
法令根拠	市政モニター設置及び運営要項			単年度繰返し (平成17年度~)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)			☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>市民モニターと市長および各部局長との対話に場を設け、地域の課題や市政に関する「生の声」をお聴きする場として開催しています。道路問題から子育てに関することまで、多岐にわたる意見や要望に対処しています。</p> <p>また、苦情の処理や対応については、各部、各課で対応しその対処法などの内容を記録し、相手の様子も含め関係各課へ正確に伝え、苦情等が再発しないような情報の共有化も図っています。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・市民モニターの募集(実績:公募1人、区長推薦24人)。 ・6月30日に市政モニター会議、3月2日に対話集会・施設見学開催(義務教育学校桃山学園)。 ・ハガキなどでの意見・要望・苦情などを市政に反映させました。また、モニターに市政の課題、現状を報告し理解を求めました。 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民モニター の募集。 モニター会議・対話集会、施設見学開催。 ハガキなどでの意見・要望・苦情などを 受付・取り纏め・回答。 会議録をモニター配布。	市政モニター会議・対話集会の回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	施設見学の回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	市政モニターの数	人	25.00	25.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民	桜川市人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民モニター の意見が市政に反映される ようにします。	意見の件数	件	27.00	33.00	30.00	30.00	30.00
	意見が市政に反映されていると感じる市民の割合	%	25.20	25.20	26.00	27.00	28.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内訳	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	104	81	186
	事業費計(A) 千円	104	81	186	
人件費	正規職員従事人数 人	3.00人	3.00人	3.00人	
	述べ業務時間 時間	124.30	161.15	160.00	
	人件費計(B) 千円	364	471	468	
トータルコスト(A)+(B) 千円		468	552	654	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)		30年度事業費 予算(千円)	
	01 報酬	78	01 報酬	180
	11 需用費	3	11 需用費	6
		合計	81	合計

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	市政モニター設置事業	事務事業No.	60101000875	所属課	秘書広報課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併前に旧岩瀬町で実施していたものを引き継いで実施しています。 モニターが、まちづくりや施策形成への場へ参加しその意思を市政に反映することができる仕組みづくりが求められています。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 「市民からの意見を公表してはどうか」との意見が市議会議員の一部から出ています。 「区長から話があるまで、市政モニターの存在を知らなかった。要項を読んでも具体的な内容が分からなかった」との意見が、市政モニターから出ています。 区長から、推薦者を探すときに、説明資料として要項を要約した資料があった方が良いと意見がでています。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 開催時期や時間を含め、開催方法を検討し、参加者を増やすとともに、ご意見を述べやすい環境を整えていく。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	要項に基づくモニター会議であり、提案された意見提言などに対し、関係課との連携により回答と政策反映の検討を行っていることから、広報広聴の充実にあたる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民参加による市民と協働のまちづくりを進めるため、広く市民の方の声を聞き、市政への反映を図ることは市が行う事業である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	開催時期や時間を含め、開催方法を検討し、参加者を増やすとともに、ご意見を述べやすい環境を整えていく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民の方がモニターとして市政に直接関われる機会であり、廃止することは市民協働のまちづくりに反します。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がありません。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	モニターとしての会議出席日当とお茶代だけであるため削減はできません。 業務時間が多いのは、意見・要望の対応や会議の議事録作成であり、削減は困難です。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内の各地区から年代・性別などを加味して区長推薦してもらっているほか、一般公募により募集も実施しているため公平です。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市政モニターがさらに色々な意見を出せる環境を整えていきたい。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市政モニターから多くの意見をもらう機会づくりとして、施設見学会を市民が一番関心のある場所で実施することで、意見数増加をねらう。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	--